

## 子ども家庭支援センターの状況について

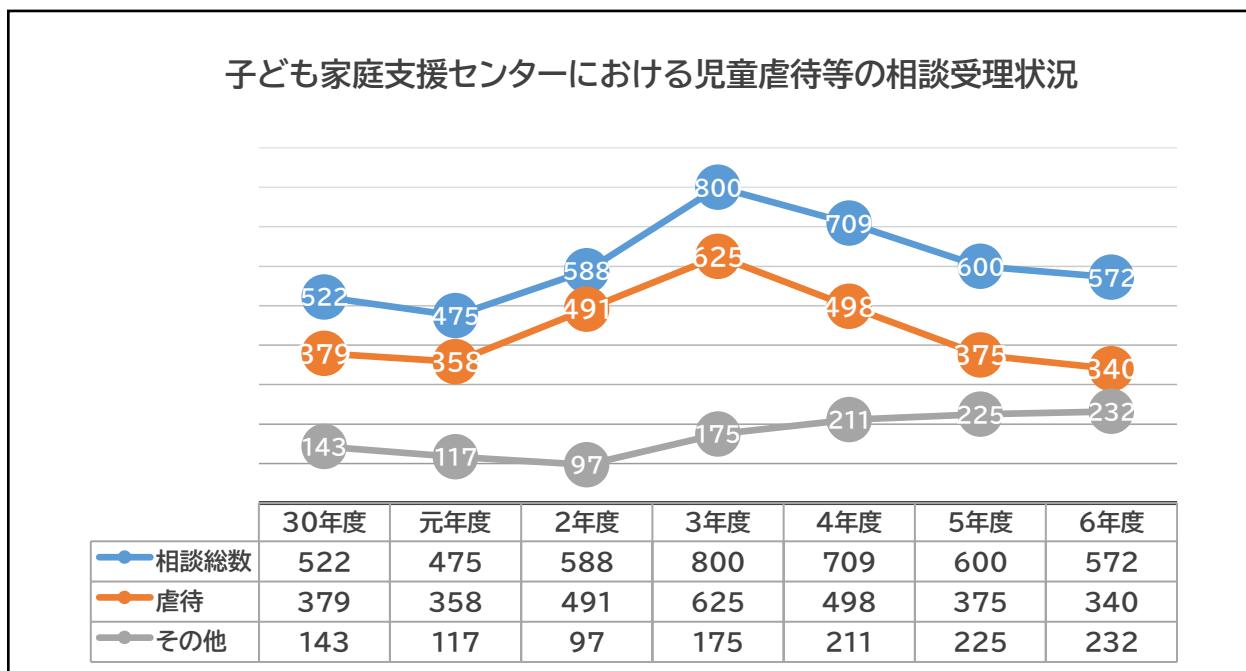
※ R7 年度:4 月～11 月統計

子ども家庭支援センターは、妊娠中から概ね18歳までのすべての子どもと家族を対象とするあらゆる相談に応じ、必要な支援に係る業務全般を行う施設。

本区は東西2か所の子ども家庭支援センターで、虐待・子育て・発達・障害・ヤングケアラーなど、すべての相談に応じている。

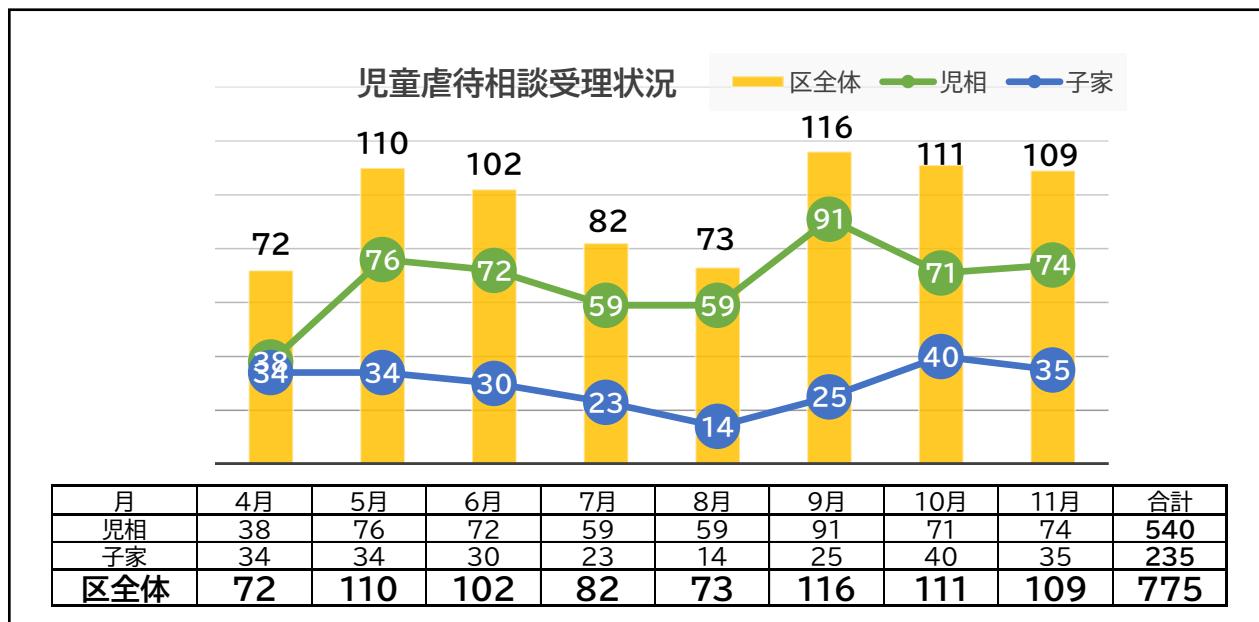
### 1. 児童虐待等の相談に関する状況

#### (1) 豊島区児童相談所開設前後の状況

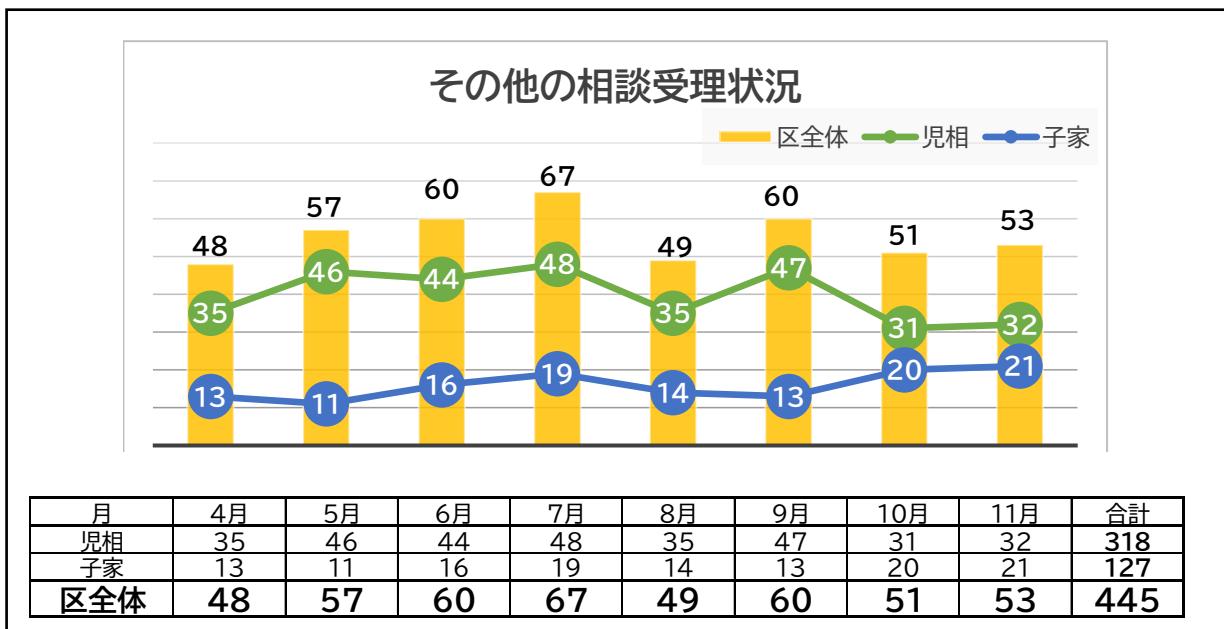


#### (2) 豊島区児童相談所開設後の状況(R7年度の状況)

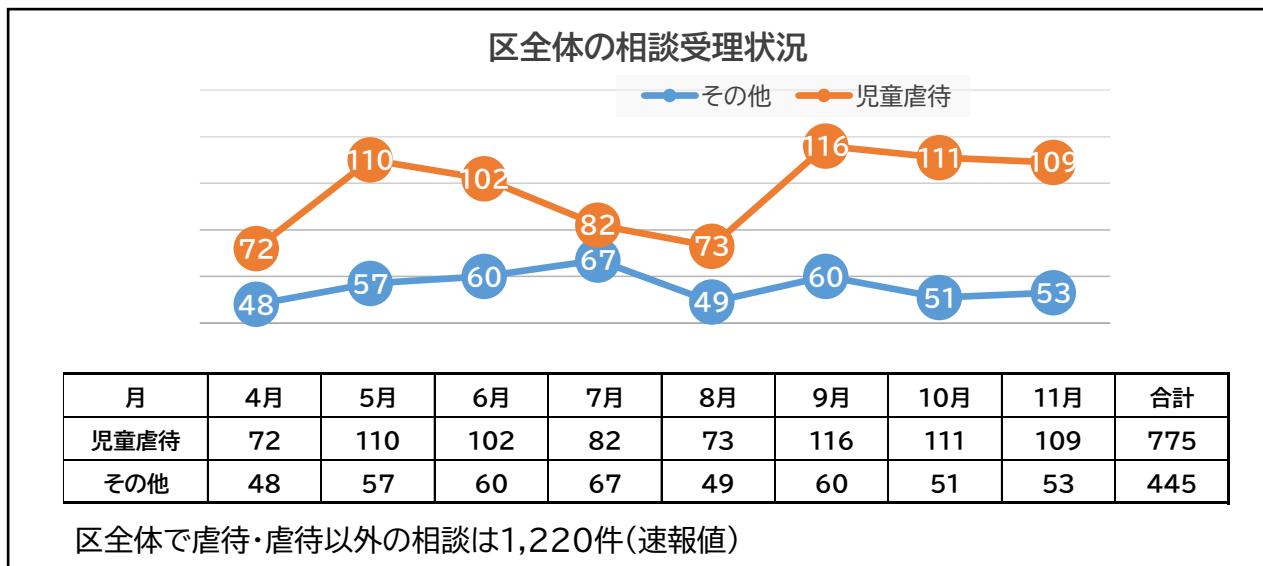
##### ①児童虐待相談受理状況



## ②その他の相談受理状況



## ③令和7年度相談総数



## (3)令和7年度 子ども家庭支援センターの相談受理状況

### ① 虐待通告件数

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	合計
34	34	30	23	14	25	40	35	235

### ② 虐待通告の種別

区分	ネグレクト	身体的	心理的	性的	合計
4月～11月	29	97	109	0	235
	13%	41%	46%	0%	100%

③ 主な虐待者

区分	実母	実父	継母等	継父等	祖父母	その他	合計
4月～11月	128	92	0	0	1	14	235
	54.5%	39%	0%	0%	0.5%	6%	100%

④ 虐待通告児童の年齢

区分	0～2歳	3～6歳	小学生	中学生	高校生	不明	合計
4月～11月	61	63	77	11	6	17	235
	26%	27%	33%	5%	2%	7%	100%

⑤ その他の相談件数

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	合計
13	11	16	19	14	13	20	21	127

⑥ その他の相談の種別

区分	養育困難	特定妊婦	非行	発達	不登校	家庭内暴力	性格行動	いじめ	その他	合計
4月～11月	90	28	0	0	1	0	6	0	2	127
	71%	22%	0%	0%	0.5%	0	5%	0%	1.5%	100%

⑦ その他の相談児童の年齢

区分	胎児	0～2歳	3～6歳	小学生	中学生	高校生	不明	合計
4月～11月	28	39	10	27	17	6	0	127
	22%	31%	8%	21%	13%	5%	0%	100%

⑧ 子ども家庭支援センターから区児相へ送ったケースの状況

区分	送致(虐待)	装置(虐待以外)	対応依頼(虐待)	対応依頼(虐待以外)	情報提供(受理前協議込み)(虐待)	情報提供(虐待以外)	合計
4月～11月	12	0	2	1	2	11	49

⑨ 区児相から子ども家庭支援センターへ送ったケースの状況(逆送致等)

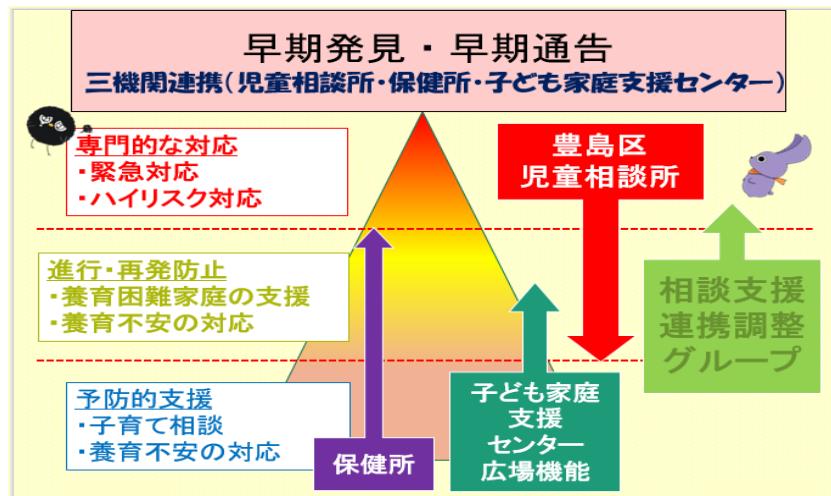
区分	面前DV	泣き声通告	その他虐待	その他	対応依頼	指導委託	合計
4月～11月	2	14	3	7	6	0	32

(4)児童相談所との役割分担について

区児相の設置をきっかけに、児相・保健所・子ども家庭支援センターの三機関が密に連携しながら、それぞれがケースの状況に応じて役割分担をしながら支援を行っている。

特に、虐待の進行・再発防止が必要なケースについては、三機関がのりしろ型の支援を行い支援の狭間にケースが落ち込むことがないよう、三機関それぞれの強みを生かしながら、丁寧にケースの進捗管理を行っている。

### <三機関連携のイメージ>



### (5) こども家庭センターについて

令和6年4月より、区の組織体制に、「こども家庭センター」の機能を付与することで、母子保健部門と児童福祉部門を一体的に運営する環境を整え、妊娠婦と家庭への支援体制を強化し、妊娠期から子育て期までの切れ目ない支援を推進している。

こども家庭センターでは、毎月2回合同会議を開催し、サポートプランを策定する体制を整えている。

### <合同ケース会議 報告・検討数>

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	合計
三機関連携会議	27	28	37	42	33	28	27	39	261
合同会議	27	36	37	43	46	32	23	29	273
合計	54	64	74	85	79	60	50	68	534

#### 【三機関連携会議】

健康推進課・長崎健康相談所・子ども家庭支援センター・児童相談所

#### 【合同会議】

健康推進課・長崎健康相談所・子ども家庭支援センター

## 2. 要保護児童対策地域協議会について

要保護児童対策地域協議会とは、保護や支援を必要とする児童および妊婦の早期発見と早期対応を目的に、児童福祉法第25条の2に規定されている機関。

豊島区においては、子ども家庭支援センターを要保護児童対策地域協議会の調整機関と定め、ネットワークの運営に当たっている。(児童福祉法 第25条の2第4項)

### (1) 会議体の実施状況

会議体	日 程	主な活動内容	備 考
①代表者会議	第1回 令和7年5月19日(木) 15:00~16:30	・ 令和6年度 事業報告 ・ 令和7年度 事業計画等 ・ 意見交換 出席 55 名	区役所本庁舎 センタースクエア

	第2回 令和8年1月15日(木) 14:30~15:15	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和6年度 事業中間報告</li> <li>令和7年度 事業計画等</li> <li>意見交換 (ネットワーク研修と同日開催予定)</li> </ul>	
②実務者会議	第1回7月31日(木) 15:30~17:00	<ul style="list-style-type: none"> <li>第1回セーフコミュニティ対策委員会(としま安全・安心推進協議会)</li> <li>防災危機管理課より</li> <li>令和6年度 事業報告</li> <li>令和7年度 事業計画について</li> <li>意見交換 出席 43名</li> </ul>	509・510会議室
	第2回9月25日(木) 15:30~17:00	<ul style="list-style-type: none"> <li>ヤングケアラー支援について</li> <li>事例検討「訪問看護の現場より」 事例発表:沖野加奈子氏 出席 35名</li> </ul>	
	第3回12月4日(木) 15:30~17:00	<ul style="list-style-type: none"> <li>第2回セーフコミュニティ対策委員会</li> <li>令和7年度 取り組み状況報告</li> <li>意見交換 出席 34名</li> </ul>	
	第4回2月19日(木) 15:30~17:00	計画中	509・510会議室
②実務者会議 (ネットワーク会議)	虐待進行管理 月1回	虐待ケースの現状と支援方針の確認	豊島区児童相談所・相談支援 G
	ネットワーク会議 月1回 第2水曜日 15時~17時	<ul style="list-style-type: none"> <li>前月の子ども家庭支援センター新規受理ケースについて報告</li> <li>ケースの情報共有、支援方針の検討</li> <li>事例検討</li> </ul>	巣鴨・池袋・目白警察署 少年係長 豊島区民社会福祉協議会 CSW 生活福祉課 西部生活福祉課 保健所 教育委員会 豊島区児童相談所 子ども若者課 子育て支援課 子ども家庭支援センター 保育課
②実務者会議 (三機関連携会議)	三機関連携会議 月1回 第2水曜日 13時30分~15時 定例会議にて進行管理を行う	<ul style="list-style-type: none"> <li>特定妊婦及び支援を要する3歳歳の児童のいる家庭の支援に関する情報共有・進行管理。</li> <li>一時保護・施設入所中などの児童のいる家庭について三機関で共有する。</li> <li>その他、三機関の所長が必要と判断したこと。</li> </ul>	豊島区児童相談所 保健所 子ども家庭支援センター
③個別ケース検討会議	随時	・ケースに関わる関係機関職員等と情報を共有し、支援方針や役割を確認。	

## (2) 児童虐待の対応力強化・関係機関との連携強化の取り組み

- ① 相談ワーカーの強化
  - ・各種研修・OJTの実施
  - ・児童福祉任用前研修
  - ・ヤングケアラーコーディネーター研修

- ・ トラブルインフォームドケア
- ・ 児相短期研修
- ・ 関係機関、施設見学 など

## ② 関係機関の連携強化

### ○ 関係機関向け研修の実施

日 時	テーマ及び講師
年2回開催	<p>第1回 6月24日(木)15時～17時            内容 「外国籍を持つ家庭の状況と支援～私たちが知っておきたいこと～」            講師:NPO 法人 Mother's Tree Japan 事務局長            坪野谷 知美 氏</p> <p>81名参加</p> <p>第2回 1月15日(木)15時30分～17時実施予定            内容 「親を頼れない子どもたち(仮)            ～ブリッジフォースマイルの活動より～」            講師: 認定 NPO 法人 ブリッジフォースマイル</p>

### ○ 出張講座

子ども家庭支援センターの相談支援・連携調整グループの職員が各機関に訪問し、児童虐待やヤングケアラー支援についての勉強会を実施。

- ・ ファミリーサポート援助会員(3回)
- ・ 区内幼稚園、保育園、小学校 保護者・教員・生徒(朝礼にて)
- ・ 区民ひろば
- ・ 区内専門学校、大学
- ・ NPO 団体

合計 28回(11月末現在)

\*内、ヤングケアラー支援内容あり 14回

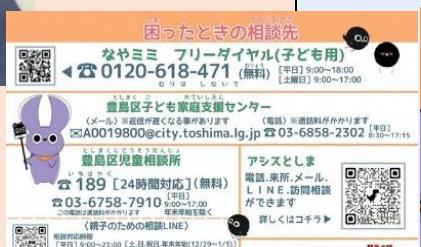
### ③構成機関の拡充

要保護児童対策地域協議会の新規加入推進を継続して行っており、現在79団体、地域での子どもたちの見守りの目を広げられるように今後も加入推進していく。

### (3)虐待防止活動の展開

行政だけでなく、地域の皆様や関係団体の協力を得て、様々な活動を展開している。

<p><b>① オレンジリボン運動</b></p> <p>運動の趣旨を広報しつつ、様々な世代・立場の区民とリボンを作成。各種イベントで配布し、虐待防止を訴える</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>○更生保護女性会によるオレンジリボン制作 →毎月第四月曜日実施</li> <li>○大学・専門学校との協働の再開(授業など)</li> <li>○オレンジリボン全庁職員の着用</li> <li>○DV 防止との連携でダブルリボンの作成を継続</li> <li>○7月6日(日) 「社会を明るくする運動 区民の集い」参加</li> </ul>
<p><b>② 「児童虐待防止街頭キャンペーン」</b></p>    	<ul style="list-style-type: none"> <li>○毎年 11月オレンジリボン・児童虐待防止推進キャンペーン実施。</li> <li>○11月8日(イケサンパーク) ファーマーズマーケットに参加し、キャンペーングッズを配布。児童虐待防止の呼びかけを行った。 グッズ1000個配布 参加者52名</li> <li>○11月29日 (たすきリレー&amp;トークイベント&amp;区民講演会) トークイベントに始まり、区児相から区役所までを学生、関係機関職員でのたすきリレーへ。午後は区民講演会を実施し、1日を通して児童虐待防止の啓発を実施した。スタッフを入れると約300名にご参加いただいた。 グッズ160個配布 参加者内訳 　　トークイベント56名 　　たすきリレー61名 　　区民講演会(講師:三原聰子氏)144名</li> </ul> <p>共催:日本こども支援協会、明治安田こころの健康財団</p>
<p><b>③ 養育家庭体験発表会</b></p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>○児童相談所主催</li> <li>○9月23日(火・祝)実施</li> <li>センタースクワア</li> </ul>

<p><b>④ 豊島区児童虐待防止区民講演会 「もがれた翼」</b></p>  <p>8月9日(土) 10:00開演 10日(日) 12:00開演 16:00開演</p>	<p>○区民向けに児童虐待防止、ヤングケアラー啓発につながる演劇を東京弁護士会と共に実施 ○令和7年8月9日(土)、10日(日) もがれた翼パート29「スクウェアルーツ」 3公演とゲネプロで 828人観劇</p>
<p><b>⑤ SNSの活用した啓発活動 (YOUTUBE・Instagram・X・旧Twitter)</b></p>	<p>○東西子ども家庭支援センターは動画配信やInstagram・Twitterを活用。連携調整Gは虐待防止動画アニメ配信を継続。</p>
<p><b>⑥ ヤングケアラー支援</b></p> 	<p>子ども家庭支援センターが常設相談窓口となり、2名のヤングケアラー支援コーディネーターを中心に、ヤングケアラー支援について他部署とともに取り組む。個別の家庭の相談支援の他、研修・普及啓発活動・各関係機関との連携会議など実施予定 ○8月 中央図書館にてブース設置 ○10月18日(土)13時30分～15時30分 ヤングケアラー支援区民講演会 講師：滝島 真優 氏 参加 64名 ○2月5日(木)あうるすぽっと ヤングケアラー関係機関連絡会議 ○大正大学学生作成のポスター展示</p>
<p><b>⑦ 子どもの相談カードの配布</b></p>   	<p>○「子どもの相談カード」 ヤングケアラーに関する内容を追記し、7月夏休み前に学校、関係機関に15,000部配布。 (公立小学校1年生～中学校3年生)  ○子どもたちに、学校の朝礼で相談カードについて周知を実施。</p>

## (4) 子ども家庭支援センターの各種事業について

### 〈実施事業〉

- |                |              |               |
|----------------|--------------|---------------|
| ① 親子あそび広場事業    | ② 親子関係形成支援事業 | ③ 一時保育事業      |
| ④ 子育て訪問相談事業    | ⑤ 育児支援ヘルパー事業 | ⑥ 巡回子育て発達相談事業 |
| ⑦ 児童発達支援センター事業 | ⑧ ショートステイ事業  | ⑨ バースデーサポート事業 |

### ① 親子あそび広場事業

- ・子どもを遊ばせながら、気軽に相談ができる場所。あらゆる相談の窓口
- ・各種講座・講演会・イベントの実施

#### 【実績】

区分	東部	西部	計
新規登録 児童数	447	351	798
総利用者数	10,196	5,392	15,588
子ども	5,117	2,760	7,877
大人	5,079	2,615	7,694

### ② 親子関係形成支援事業

- ・親と子の「子育て・子育ち」を地域全体で支えあう関係づくりを区民とともにを行う
- ・自主グループ、ボランティア団体の活動場所として提供する

#### 【実績】

##### ○ 活動件数

区分	東部	西部	計
行事・講座活動件数	157	107	264
自主企画活動件数	13	2	15
合計	170	109	279

##### ○ 参加者数

区分	東部	西部	計
行事・講座・自主企画 参加者数	1,677	1,201	2,878
ボランティア活動者数	273	47	320
合計	1,950	1,248	3,198

### ③ 一時保育事業

- ・育児疲れの解消や通院、家事など理由を問わず一時的にお子さんをお預かりする事業

#### 【実績】

区分	東部	西部	計
総保育児童数	1,505	1,168	2,673
0歳	109	99	208
1歳	652	504	1,156
2歳	560	388	948
3歳	110	100	210
4歳以上	74	77	151
総保育時間数	8,438	5,909	14,347

#### ④ 子育て訪問相談事業

- ・子育て訪問相談 訪問の希望者宅へ出向き対応
- ・区民ひろば出張訪問（東部・育児相談）18か所（西部・発達相談）18か所
- ・その他 専門相談員相談 おめでとう面接

##### 【実績】

- 相談対応件数

区分	東部	西部	計
相談対応件数	1,410	1,898	3,308

- 相談対応件数内訳

区分	東部	西部	計
ヘルパー申請・利用	282	247	529
バースデイ訪問	350	294	644
訪問相談	778	1,357	2,135
合計	1,410	1,898	3,308

#### ⑤ 育児支援ヘルパー事業

- ・育児、家事が必要な家庭にヘルパーを派遣し、手伝いをする  
(対象)2歳未満の家庭 (時間)8:00~19:00 2時間~4時間/日  
(料金)900円／時間 (利用時間数)70時間/1回の妊娠 (双子以上160時間)  
※ひとり親家庭 小学校修了時まで 7:00~21:00 70時間/年

##### 【実績】○ ヘルパー派遣回数

■ 派遣時間:7,315時間

ヘルパー派遣内容	派遣回数
育児のみ	1,168
家事のみ	1,130
育児+家事	503
合計	2,801

#### ⑥ 巡回発達相談事業

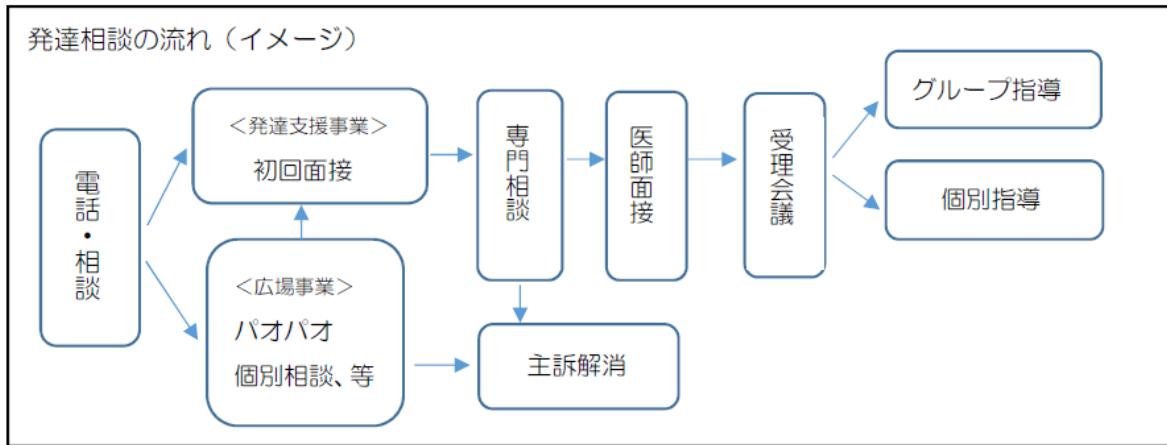
- ・障害児、発達の気になる子どもがいる保育園、幼稚園、学童クラブを巡回し、児童の行動観察を行う。保育者や保護者の相談を受け、子どもの発達を支援する(約100施設)

##### 【実績】

巡回施設延べ訪問件数	対象児延べ相談件数
309	1,589

#### ⑦ 児童発達支援センター事業

- ・豊島区立では唯一の児童発達支援センター(通所バスがあり)
- ・内容:単独通所、親子通所、個別指導(言語療法、作業療法、理学療法、心理)相談グループ、就園・就学前のフォローグループ、親の会  
(令和4年度よりサテライトによる専門相談実施)
- ・職員、専門講師…子ども家庭支援ワーカー、看護師、臨床心理士、小児精神科医、小児科医  
言語聴覚士、作業療法士、理学療法士、音楽療法士
- ・定員 受給者証利用の療育 1日40名



### 【年間行事】

- ・園外保育
- ・馬とふれあう会
- ・お父さんと一緒に
- ・縁日ごっこ
- ・家族交流会(芋ほり・学習会等)
- ・親子クッキング(武蔵野調理専門学校)
- ・お楽しみ会
- ・お祝い会

### 【学習会等】

- ・関係機関向け学習会
- ・ペアレントトレーニング
- ・ペアレントメンター事業
- ・保護者向け学習会  
(就学相談について、アゼリア歯科学習会等)

### 【児童発達支援センターでの新たな取り組み】

- ・栄養士による事業
  - ・調理体験 4グループ(ぞう、うさぎ、ラッコ、コアラ)で開催
  - ・グループ所属児の食事観察、食事指導、食事補助及び保護者への食事に関する日常的なフォロー
  - ・食事・栄養相談
- ・低年齢層児向け発達フォローグループ「たまごタイム(児発と広場のコラボ)」
- ・就園後のフォローグループ(ラッコグループ)を始動し小集団で社会性や生活面の支援を行った。

## ⑧ ショートステイ事業

- ・保護者の病気、怪我、出産や入院などの理由により、一時的に児童の養育が困難になった一般家庭を支援するとともに、保護者の強い育児疲れ若しくは育児不安又は不適切な養育状態により子どもへの虐待のおそれ、リスク等が見られる家庭において子どもを養育することが一時的に困難になった要支援家庭を支援する。
- ・平成30年度から要支援ショートステイ(トワイライトステイを含む)を開始。受入施設も拡充し、令和3年度からは一般ショートステイの利用日数を年度内12泊までに拡大(従来は6泊)。

## (事業者一覧表)

受入れ先	最寄り駅	対象児童	事前面接	通園(学) 先への送迎	その他
聖オディリアホーム 乳児院	西武池袋線「富士見台駅」から徒歩9分	生後43日 ～2歳未満	必須。面接の上、利用の可否を決定。	不可	事前面接時に母子手帳を持参
児童養護施設 子供の家	西武池袋線「清瀬駅」から徒歩12分	2歳 ～高校3年生	原則なし。ただ可能なら事前面接。	応相談	
児童養護施設 星美ホーム	埼京線「赤羽駅」から徒歩15分もしくはバス	2歳 ～高校3年生	事前の施設見学必須。	応相談	車による送迎あり
母子生活支援施設 愛の家	西武池袋線「東長崎」から徒歩5分	中学1年生 ～高校3年生の女子	原則なし。	応相談	トワイライトステイあり
協力家庭(1)	南北線「駒込駅」から徒歩12分	2歳 ～高校3年生	原則なし。	応相談	
協力家庭(2)	JR「池袋」から徒歩15分	小学1年生 ～高校3年生	原則なし。	応相談	トワイライトステイあり

## 【R6実績】

R6	一般家庭ショートステイ				要支援家庭ショートステイ				トワイライトステイ(要支援家庭)		計
	星美ホーム	子供の家	聖オディリア 乳児院	協力家庭	星美ホーム	聖オディリア 乳児院	子供の家	協力家庭	協力家庭	愛の家	
利用人数(延べ人数)	35人	7人	35人	0人	17人	4人	141人	26人	260人	212人	737人
利用泊数	75泊110日	19泊26日	53泊88日	0泊0日	50泊67日	4泊8日	280泊421日	36泊62日	260回	212回	517泊782日 472回
計	利用人数:77人【実人数:44人】 利用延べ日数:147泊224日				利用人数:188人【実人数:55人】 利用延べ日数:370泊558日				利用人数:472人【実人数:8人】 利用延べ回数:472回		実人数 107人

## 【R7実績(4月～11月)】

R7(4月～11月)	一般家庭ショートステイ				要支援家庭ショートステイ				トワイライトステイ(要支援家庭)		計
	星美ホーム	子供の家	聖オディリア 乳児院	協力家庭	星美ホーム	聖オディリア 乳児院	子供の家	協力家庭	協力家庭	愛の家	
利用人数(延べ人数)	12人	4人	23人	0人	20人	7人	66人	14人	245人	66人	457人
利用泊数	45泊57日	14泊18日	42泊65日	0泊0日	109泊129日	15泊22日	135泊199日	30泊44日	245回	66回	390泊534日 311回
計	利用人数:39人【実人数:24人】 利用延べ日数:101泊140日				利用人数:107人【実人数:40人】 利用延べ日数:289泊394日				利用人数:311人【実人数:10人】 利用延べ回数:311回		実人数 74人

## ⑨ バースデーサポート事業

- 各年度中に満1歳を迎える児童を対象に、贈呈品をお渡しする事業。併せて、家庭訪問でアンケートをとり、保護者と児童の健康状態などを確認する。
- 豊島区では令和5年度に第1子1万円、第2子2万円、第3子以降3万円の子ども商品券を贈呈した。
- 令和6年度から都の補助内容が拡充され、第1子6万円、第2子7万円、第3子以降8万円のギフトポイントで対象者が選んだ商品を贈呈している。
- 令和7年度からは都の要綱改正に合わせ、1歳台で都内から転入し、かつ他自治体でバースデーサポートを受けていない家庭も対象としている。

## 【R6 実績】

### ○ 基礎データ

(男女比)

	人数	割合
男性	905 人	53.2%
女性	795 人	46.8%
合計	1,700 人	100.0%

(国籍)

	人数	割合
日本人	1,539 人	90.5%
外国籍	161 人	9.5%
合計	1,700 人	100.0%

(構成)

第1子	第2子	第3子	第4子	第5子	第6子	第7子
986 人	560 人	125 人	21 人	7 人	1 人	0 人
58.0%	32.9%	7.4%	1.2%	0.4%	0.1%	0.0%

### ○ 実績

対象者数	アンケート回収数	アンケート未回収数	回収率	未回収率
1,700 人	1,652 件	48 件	97.2%	2.8%

## 【R7実績】※R7.4月～R8.1月に区内で満1歳を迎える子どもに対する実績

### ○ 基礎データ

(男女比)

	人数	割合
男性	757 人	51.5%
女性	714 人	48.5%
合計	1,471 人	100.0%

(国籍)

	人数	割合
日本人	1,329 人	90.3%
外国籍	142 人	9.7%
合計	1,471 人	100.0%

(構成)

第1子	第2子	第3子	第4子	第5子	第6子	第7子
887 人	474 人	93 人	14 人	1 人	1 人	1 人
60.3%	32.2%	6.3%	1.0%	0.1%	0.1%	0.1%

### ○ 実績

対象者数	アンケート回収数	アンケート未回収数	回収率	未回収率
1,471 人	1,173 件	298 件	79.7%	20.3%

## 【R7 1歳台転入者実績(R6.4月～R7.11月転入者)】

### ○ 実績

1歳台転入者数	左記のうち対象者数	アンケート回収数	アンケート未回収数	回収率
75 人	25 人	19 件	6 件	76.0%

## ○ チラシ



## ○ 専用ホームページ

<https://oen-gift.jp/toshimabs/guest>

